

とこい洋治  
県政報告

## 笑顔大好き

EGAO

DAISUKI

2004.1.4  
VOL.16  
とこい洋治後援会  
〒319-0205 西茨城郡岩間町神辺1745  
TEL0299 (45) 6818  
FAX0299 (45) 0818

## みんなの創意で、夢と希望の地域づくり



▲第34回岩間町民駅伝大会が開催され、町内各地区から11チームが参加して健脚を競いました。今年は、紅葉の美しい愛宕山麓の上郷コースで行われ、沿道では、大勢の人が声援を送りました。常井洋治議員（左から3人目）はスタートから応援しました。安居（あご）チームが優勝しました。（左隣は、仲田町長さん。15年11月）

## 燃える郷土愛。全力投球!!

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと思います。ご一家のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

さて、私は、2期目の当選をさせていただいて以来、1年あまりを経過しましたが、お陰様で元気で、日々県議会活動に励んでおります。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

長引く経済不況のなかで、県民の生活も大きな不安にさらされております。私は、予算特別委員会において、橋本知事との論戦のなかでも、「県民生活の安定」こそ今の県政のキーワードだとの共通認識の元に大いにものを申して参りました。そして、新たな発想で、数々の提案をしまりました。知事や執行部の理解を得て、県の施策として多く実現をみてきましたことを嬉しく思っております。

私は、今後とも初心を忘れることなく、「生活者としての県民の目線」と「納税者の視点」から、県民のニーズをしっかりと把握して、スピーディに実現するため、最大限の努力をしまります。

私、常井洋治は、皆様の御用聞きに徹し、その声を県政に反映してまいります。

今後とも引き続き絶大なるご支援をお願いいたします。

茨城県議会議員

常井洋治



# 一緒に創ろう!

## 平成15年第4回定例県議会 を終えて

# ふるさと西茨城郡

友部町  
岩間町  
岩瀬町

# の新時代

第4回定例県議会は、11月25日から12月9日までの15日間開かれ、条例など22議案を可決して閉会しました。今回は補正予算の提案はありませんでした。

常井議員は、土木委員会で活発な質疑を行いました。

なお、平成16年第1回定例会は2月25日から3月22日までの27日間で開催される予定です。

## 県議会トピックス

### ● 広域連携物流特区(国際物流特区)が認定される

茨城・栃木・群馬3県が共同で申請していた上記特区計画が11月28日に国の認定を受けました。

これにより、常陸那珂港を中心とした港湾地域と北関東自動車道沿線地域においてネットワーク化が強化され、物流拠点としてのいばらき総合流通センター(友部町)への企業立地が期待されます。

### ● パソコン・携帯電話でスポーツ施設予約が可能に

パソコンや携帯電話を使って、自宅や職場などから24時間365日、施設の予約や利用状況の検索ができる「いばらきスポーツ施設予約システム」がスタートしました。西茨城郡では、現在、岩間町及び岩瀬町の施設で利用可能です。超高速情報通信網「いばらきブロードバンドネットワーク」(IBBN)の成果です。

### ● 友部町に障害者ITサポートセンター設置

県では、友部町の茨城福祉工場内に「障害者ITサポートセンター」(電話及びFAX0296-70-5733)を今年4月から開設。身体に障害がある方で「パソコンを使ってみたい、活用したい」という方をサポートするために、利用相談やボランティアの要請・派遣、パソコン教室の開催などを行っています。

## 「平成16年度国の施策及び予算に関する提案・要望」から

### 1. 道徳教育の推進を

新しい時代にふさわしい日本人の育成について(新規)  
『道徳教育の推進、奉仕・体験活動の充実、社会性の涵養など、人間性豊かな日本人の育成のための施策を一層充実させること。』

### 2. 友部サービスエリアに「ETCインター」の設置を

広域的な交流と連携を支える幹線道路の整備について(新規)  
『SA・PA等も活用し、建設・維持管理コストの削減が可能となるスマートIC(ETC専用IC)の整備を図れる制度を創設すること。』  
※常井洋治議員が主張し続けてきた、友部SA(サービスエリア)へのインターチェンジの設置を国に強く求めていくことになりました。

## 土木委員会 (H15.12.2)

◎合併市の幹線道路整備に全国初の施策を検討  
—常井委員の提案を実現へ—

◎「歴史と語らいのみちづくり」を提唱  
—地域の歴史と文化を発掘し、新たな土木行政を—

常井委員は、合併後の新市の「建設計画」に位置づけられた事業に認められている合併特例債を、整備が遅れている県道等の幹線道路(バイパス)の整備に活用する方策を県議会や法定合併協議会の中で提唱してきました。それを受けて県では、全国に先がけて検討を始めました。本来は市町村道の整備に認められる特例債を、県道のバイパス部分などを市道に認定して、特例債を適用可能にして一気に整備を進めようとするものです。

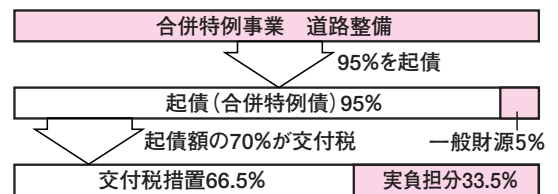
公共事業費削減で、国庫補助が従来通り確保できずに幹線道路の整備が進まない中で、地方分権時代の知恵と工夫によって進めようとするものです。新市の幹線道路の整備が進展し、利便性が向上するとともに、工事等により地域経済の活性化が期待されます。

同委員の質問に対し、鈴木敏博道路建設課長は、「県補助については、市町村の負担が大幅に軽減できるよう検討している。」とし、「新市の建設計画に位置づけが必要となるので、市町村と協議を進め、3月末までには具体化していきたい。」と答えました。

また、同委員は、本来県がやるべき県道の整備を新市が行う場合、整備後の維持管理の負担を新市に押し付けることのないよう検討すべきだと述べました。

同委員は、常に県の合併支援策の充実に努めておりますが、その提案を受けて、知事、土木部が画期的な支援策を打ち出したことに敬意を表しました。

合併特例事業(合併特例債)道路整備



※幹線道路整備新施策で検討 県費補助(補助割合は、未定)

常井委員は、道路沿いのオープンスペースなどを活用してその地域社会と「みち」の歴史的関わりなどを案内する看板を立てる、「歴史と語らいのみちづくり」を提唱しました。従来の土木施策に新たな視点を加え、郷土愛を育み、交流の促進を図るべきだと述べました。質問の中では、一例として、現在の岩間街道沿いの岩間町土師地区が、幕末期の天狗党と諸生派の争いの中で、大きな歴史の波にもまれた史実を披露しました。

これに対して、伊久間昇道路維持課長は、「常井委員提案の地域の歴史を案内する看板については、市町村や地域の方々とも協議しながら、検討してまいります。」と答えました。(写真は、県内調査で坂入土木部長(右)と。)



## 県畜産試験場跡地(友部町)の利用は、どうなっているの?(特集)

### これまでの経緯(要約)

#### ● H11.3.3・4 総務企画委員会(H11.第1定例会)

**常井委員** 先日の一般質問に対する答弁の中で、未利用地の売却可能面積の見込みを50haとし、その中に畜産試験場も含めて例示していたが、これではすぐに売却してしまうという誤解を与える。ここは、未だ地域振興の上でどういう使い方が良いのか、十分議論されていないし、市町村の利用の有無も明確にできていない段階である。単なる例示という理解で良いのか。

**荒木管財課長** そういことです。

**常井委員** 跡地利用に対する県の基本的な考え方を聞きたい。

**宇田川計画調整課長** この地域は今後大きく様変わりしていくと思われまますので、そのようなことを見極めながら、さらに、景気動向、財政状況等様々な条件を考慮しながら、長期的視点に立って検討していきたい。

**常井委員** 友部町を含むその周辺の広域的な地域のランドデザインを作成し、その中核的な機能を担う地区として位置づけるべきだ。また、荒れ地やゴミ溜め場にならないように、暫定利用についても考えるべきだ。

**宇田川計画調整課長** 県庁内の関係各部や地元と、連絡を密にしながら、どういう利用方法があるのか、協議、相談していきたい。

#### ● H11.4.27 決算特別委員会

**常井委員** 友部町の畜産試験場は、12年5月の移転後は牧草地として使わなくなるのか。

**矢口畜産課長** 茨城町にある農業大学校が、飼料草地として利用したいという意向もあるが、未定である。

#### ● H11.9.10 常井洋治議員 一般質問(H11.第3定例会)

地域振興という観点から利用方策を検討すべきであり、そのために、地元や学識経験者など幅広い各層からの意見を聞くための協議機関の設置を提案する。

**小泉企画部長** 民間活力の導入等も含め、地域振興にも資する幅広い利活用の方策について、地元自治体と連絡を密にしながら、協議調整を行っていくとともに、必要に応じ有識者等の提言をいただく場を設けるなど、広く意見をいただきながら検討していきたいと考える。

#### ● H11.12 第1回茨城県未利用地処分推進本部会議

・未利用地処分の基本的方向の決定

地域振興の観点から売却並びに利用方法等について地元の意見を十分斟酌して、検討を行ったうえで売却を行う。

#### ● H11.12.14 総務企画委員会(H11.第4定例会)

**常井委員** 跡地利用の検討状況及び町との協議状況を聞きたい。

**矢口地域計画課長** 利活用については民間を含めた幅広い選択肢を想定しながら検討をしている。町とは、上下水道や雨水排水といった基盤整備の問題、交通問題などについて、連携を取りながら調整をしている。

#### ● H12.1.21 決算特別委員会

**常井委員** 移転後の畜産試験場跡地の利用については、暫定利用もまだ決まらない中で、どういう形が想定されているのか。

**矢口畜産課長** 施設については、利用が決定するまでは、現状の形で残し(取り壊す予定の木造的な施設を除く。)、警備関係会社に委託して管理する。飼料生産関係地は、酪農組合等に一時的に管理委託をする。

#### ● H12.3 畜産試験場跡地利用基礎調査報告(県・地域振興整備公団との共同調査)

土地需要と導入可能性、土地利用ケーススタディ、実現化方策を検討したが、特に結論的なものはない。

#### ● H12.3.14 総務企画委員会(H12.第1定例会)

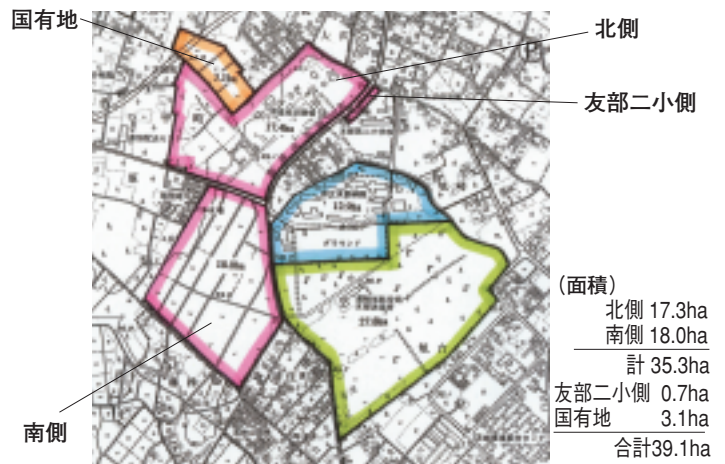
**常井委員** 地元住民の声を聞くとともに、友部町及び周辺自治体との広域的な跡地利用の検討が必要である。暫定利用の方向付けは決まっているか。

**矢口地域計画課長** 友部町と十分に連絡調整を取りながら、検討を進めていく。採草放牧地については、場合によっては第3者の方に委託して、土地が荒れないような形で採草放牧地として管理を行うという話もある。

**● H12.5 暫定的に、県酪農業協同組合連合会へ飼料畑として管理業務を委託。**

#### ● H12.5 県がゼネコン・デベロッパー等に畜試跡地利用に係るヒアリングを実施(主な意見は次のとおり。)

- ・35haを一括して開発するのは難しい。
- ・需要があっても面積は小さく、借地での事業展開を希望する企業が多い。
- ・商業系の誘致にはアクセス道路の整備が不可欠。



#### ● H13.10.9 常井洋治議員 一般質問(H13.第3定例会)

地域振興の大きな起爆剤として、有効な活用を目指すべきだ。

**橋本知事** 当初は、畜産センターを八郷町に移転建設するための財源として売却するという方針であったが、友部町の意向も踏まえ、地域振興の観点に立った利活用についても、民間活力の導入なども含め、検討を始めた。合併など地域の動向も見ながら、地域振興の観点も含め、引き続き検討していく。

**● H13.12 跡地の一部を幼稚園、小・中学校の校外教育等の活動に暫定利用決定。これより以前に、友部リトルリーグ練習場として継続利用済。(→いずれも常井議員の提案)**

#### ● H14.6.13 常井洋治議員 一般質問(H14.第2定例会)

現在、友部町と岩間町では、両町議会の協議が進み、急速に合併に向けた機運が盛り上がっている。畜産試験場跡地の活用を通して、県が積極的に合併を支援していくことが重要。

利活用の具体化について、今後どのように検討を進めるのか。

**花岡企画部長** 合併など考慮すべき新たな動きが出ており、関係各部、町と連絡をとりあっている。これらの動きを十分踏まえながら、地元や有識者等から広くご意見をいただいて具体化の検討を進める。

#### ● H14.8.19 友部町が県に対し「畜産試験場跡地の有効活用について」の事業促進に対する要望書を提出

「北側を合併後のまちづくりの拠点となる土地利用が図れるようご配慮いただくとともに、南側について、地域振興に役立つ土地利用をご検討いただきたい。」

(裏面へ続く)

畜産試験場跡地利用について(続き)

- H15.2 県と町が、跡地北側交差点改良に伴う用地買収について協議。その後、売買契約を締結し、現在町道部分を改良工事中。
- H15.9.24 《友部町・岩間町合併協議会設置》
- H15.9.25 友部町が県に対し「畜産試験場跡地の有効活用について」の事業促進に対する要望書を提出(内容は、前記のH14.8.19の要望と同じ。)
- H15.10 合併の検討に併せ、跡地利用について、「合併建設計画」に位置づけることを、県と友部町が協議して確認した。(※議事録は、常井ホームページから県議会にリンクしてご覧ください。)

### これからの方向

### 常井洋治 記

私は前記のとおり、県議会等の場で、跡地利用について質してきました。そして、議会の会期ごとに、企画部との勉強会を開催して、その進捗状況を確認してきました。経済不況や県の財政難が重なり、具体的な進展には至っていない現状です。私は、大事な公約の一つでありますので、今後も常にチェックし、皆様に情報を提供しながら、次の点に重点をおいて具体化に努めてまいります。

1. 単純一括売却でなく、全体的な土地の利用基本計画を策定し、計画的な利活用を図ること。(現在検討中である隣接する友部病院の改築移転の動向も注視していく必要がある。)
2. 地元地域の振興の起爆剤となるよう利活用すること。
3. 合併支援のための種地として利活用すること。
4. 地域の宝物である跡地の利活用には、広く地元自治体や住民の英知を結集し、その意見を反映していくしくみをつくること。



▲岩瀬町民祭は、早朝から大盛況であった。上段は、挨拶する常井議員。その右端は、中田町長さん。この日は、県広報番組「おはよう茨城」の収録が行われ、「世界石曳き選手権」の様子などが、後日放映された。同議員は、町民とふれあい、初めて車椅子の体験もした。(15年11月)



▲第10回友部町岩間町三中学校交歓野球記念大会(加藤正道会長、大橋清理事長さん)が友部二中グラウンドで開催され、常井議員は、応援に参加した。とてもレベルの高い、伯仲したゲームだった。子供たちの将来が楽しみだ。(15年10月)



▲西茨城郡社会福祉大会が友部町で開催された。左は、挨拶する常井議員と川上好孝会長さん。右は、友部町劇ボランティア25名の皆さんによる介護劇「ある老人世帯の出来事」(監督は川又博之さん)の一幕。ユーモアのなにも実践者の演技で説得力があり、常井議員も感心して観ていた。(15年11月)



▲「天狗の郷バザールdeいわま拡大版」は、小雨にもかかわらず、大勢の人でにぎわった。常井議員が力を込めてついた餅を施工組合のおかみさんたちの素敵な笑顔で丸めたあん餅は、たちまち売り切れた。(15年11月)



▲県農業総合センター(岩間町)の開放デーで、太田秀雄センター長らとパイオ展示を見る常井議員。茨城農業改革の拠点として期待は大きい。西茨城郡の地元地域への研究成果の普及を求めている。(15年11月)



▲霞ヶ浦でのコイヘルペスウイルス病による養殖コイの大量死の問題で、現地を調査し、困窮している漁家から実態や要望を聴取した。常井議員は、会派の政策調査会長として要望書をまとめあげて、橋本知事に提出した。(15年11月)



▲笠間警察署(真家陽一署長)や青少年相談員などのボランティアの皆さんによる「年末の防犯パトロール」が友部町で実施され、常井議員も参加した。地域みんなの力で、安全で安心できる地域社会を実現したい。(15年12月)



▲「第10回いわま雅楽公演」(出演、いわま雅楽文化協会、代表三原正彦さん)は、約400人の観客を魅了し、すっかり岩間の文化として根付いた。出演者と記念撮影。(15年10月)



▲常井議員は、友部、岩間町を流れる濁沼川や桜川で、竹が河床にまで繁殖している実態を指摘してきた。川の流路をふさいでしまい、増水時に危険である。3年がかりでやっと伐採の予算が付いた。水戸土木事務所の袖山茂課長、地元で心配してくれた柴沼清さんと現地にて。(15年11月)



▲常井議員は、友部町旭平二区(小倉秀男区長さん)の「ふれあいの集い」に参加して楽しいひとときを過ごした。三世代の住民がそろって参加し、いい地域づくりをしている。次代を担う子供たちも楽しそう。(15年11月)



▶第35回日展で特選を受賞した町田博文さんの受賞祝賀会が美術関係者によって開催された。洋画部門の受賞者は全国で10人と、狭き門。岩間町に住み、水戸一高で教鞭を執る町田さん(真ん中)は、3年前に続いて2度目の受賞である。地域の誇りでもある。今回は、日立市の菊池元男さん(常井議員の隣)も、特選を受賞した。(15年12月)

### ホームページが、一部リニューアルしました。

常井洋治議員と皆さんが、ぐんと身近になります。「県政を語ろう」のコーナーを充実しました。「常井洋治の日々の活動」、「県政の最新情報」、「身近な出来事」や「最近感動したこと」などを、常井洋治が自ら皆さんに発信します。また、皆さんから、県政に対する意見や提案をいただき、できるだけコメントをしていきます。そして、このコーナーを「県政のほっとコーナー」にしていきたいと思ひます。ぜひ、ご覧ください。(勝手ながら、無理のないように、試運転をしていきます。)

パソコンをやらない方も、ご友人、子供・孫さんなどのご家族の皆さんと一緒に見ていただければ幸いです。